

経営比較分析表（令和5年度決算）

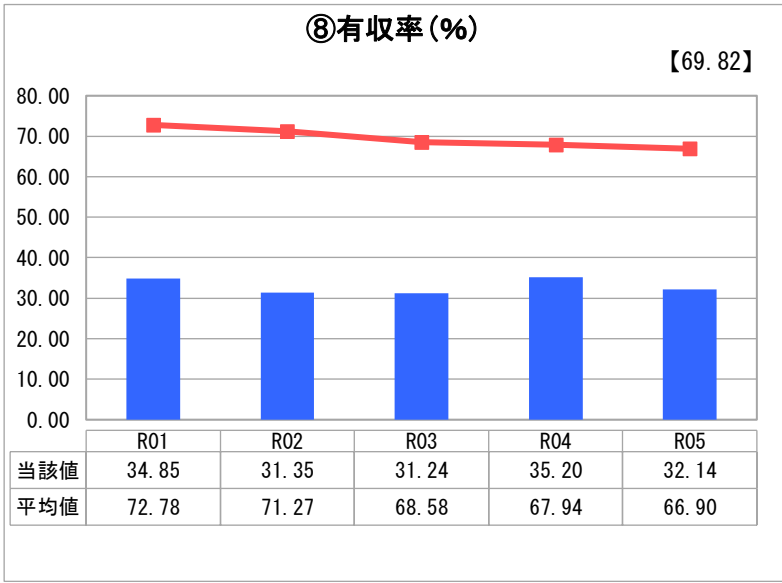
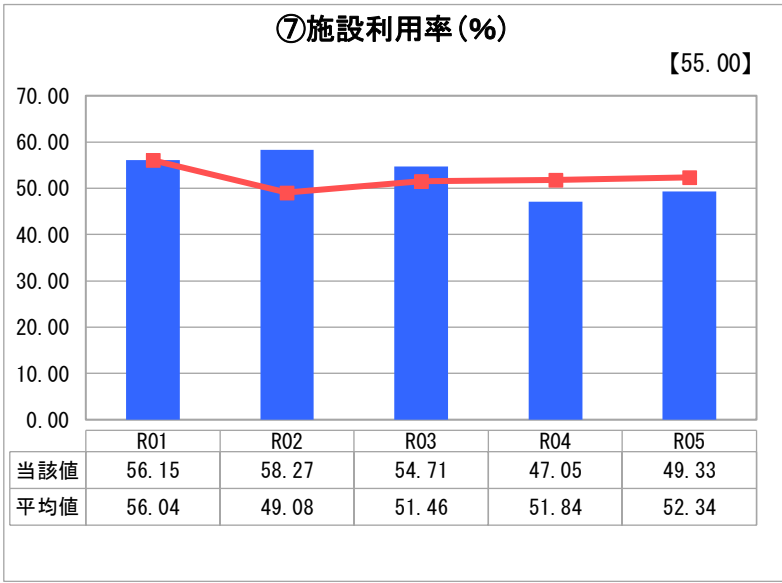
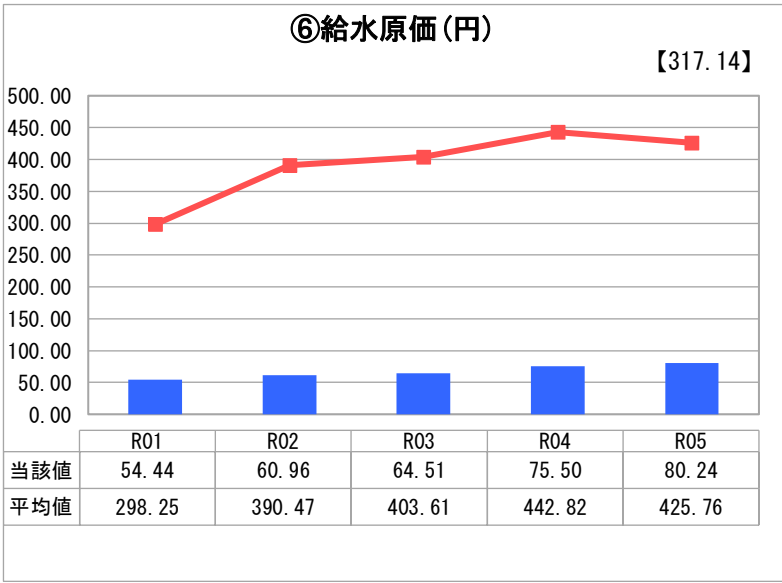
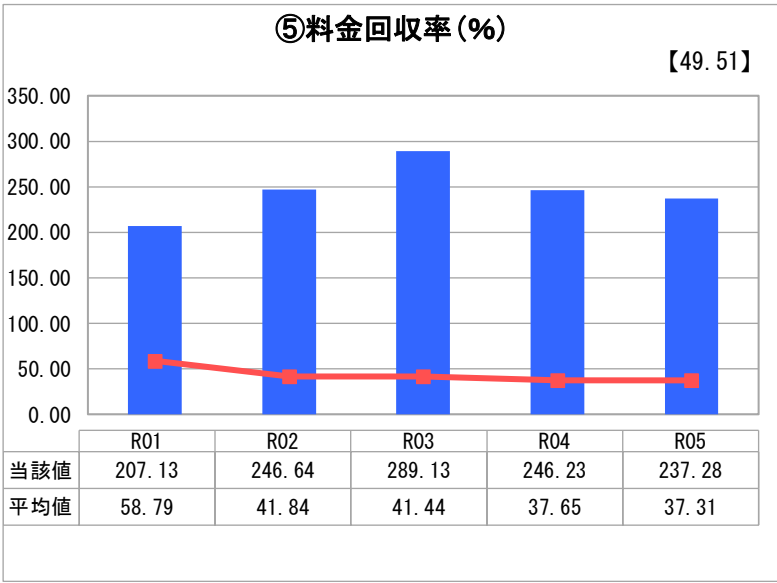
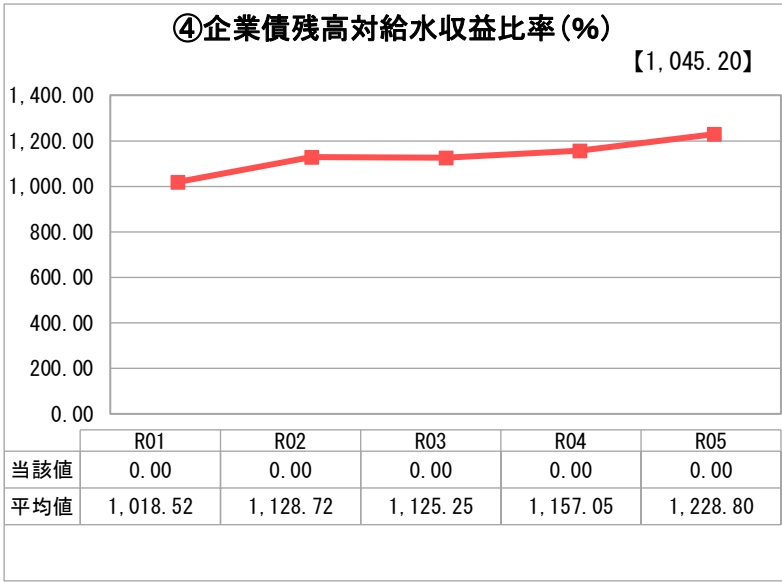
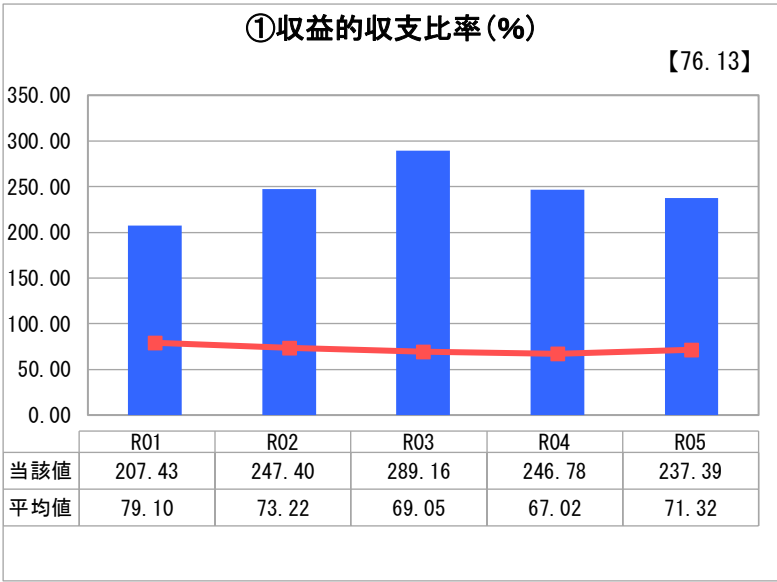
岐阜県 養老町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	6.74	3,185	

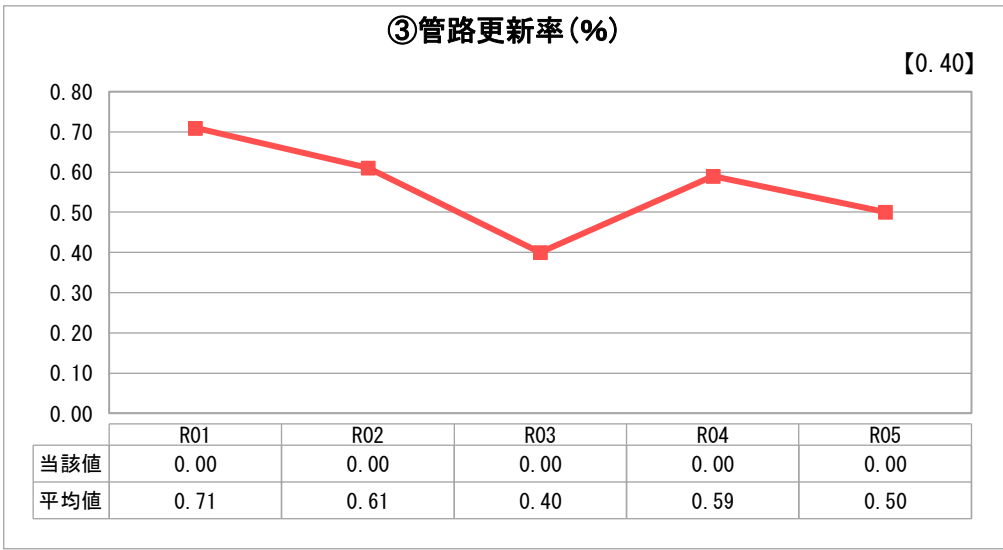
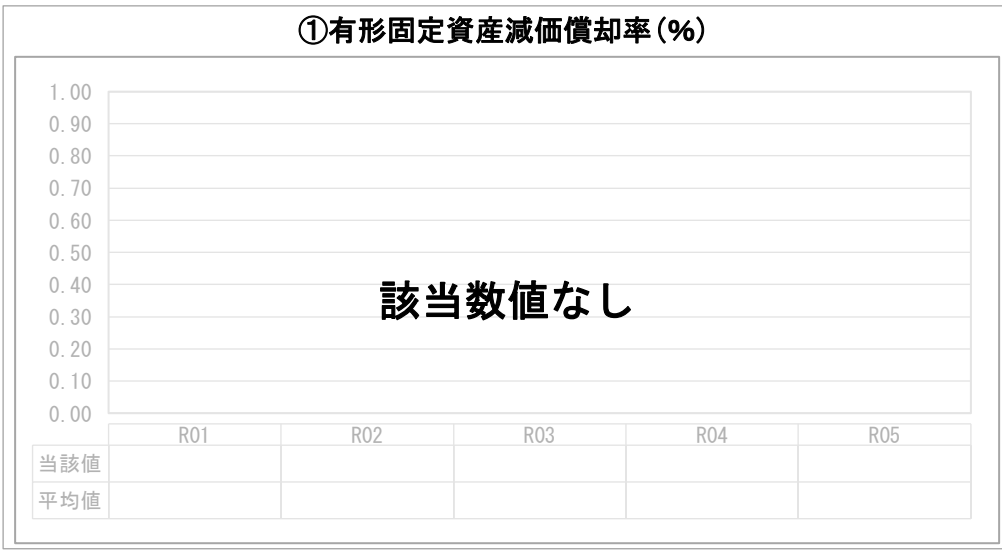
人口（人）	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,397	72.29	365.15
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,769	15.00	117.93

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、100%を上回り、黒字を維持しています。これは、令和元年度に料金改定を行ったことや、施設及び埋設管等の修繕が少なく、支出が抑えられたことによるものと考えられます。また、料金回収率は100%を上回っており、給水に係る費用は全て料金収入によって賄われていることから、経営は健全であるといえます。給水原価は、類似団体より低い数値を示しています。これは、豊富な地下水を利用していることから、相対的に低くなっているものと考えられます。しかし、給水原価は年々増加傾向にあり、有収率の低下による費用の増大が要因であると考えられます。有収率の低下については、埋設管等の漏水などによる無効水量の増加が原因と考えられ、有収率の低下を防ぐためにも、漏水の早期発見及び修繕に努めます。

2. 老朽化の状況について

施設等の老朽化が進んでいますが、これは令和元年度から令和5年度にかけて簡易水道から上水道への廃止統合事業を行い、令和6年度末には宅内の切替工事が完了する計画であるためです。よって、当事業においては、施設等の更新工事や大規模な改修工事を行う予定はありません。そのため、上水道への移行が完了するまでは、安定的に水を供給できるよう、施設や埋設管等の定期的な点検や修繕を行い、適切な維持管理に努めていきます。

全体総括

引き続き経営状況は安定していますが、施設や埋設管等の老朽化に伴う漏水等により、有収率は低下傾向にあります。しかし、令和7年4月より上水道へ移行することから、施設や埋設管の更新工事を行う予定はありません。今後は、漏水箇所の修繕に努め、有収率の向上を図っていきます。